

平成30年第11回 沼津市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成30年11月13日（火） 午後3時15分～午後3時40分

2 場 所 沼津市立第二中学校 会議室

3 日 程

- (1) 開会
- (2) 会議録署名人の指名（三好委員 重光委員）
- (3) 教育長報告
- (4) 議案
なし
- (5) 協議
なし
- (6) 報告
 - 1) 平成31年成人式及び新成人議会について
 - 2) 戸田地区小中一貫学校基本計画について
- (7) その他
 - 1) 平成31年教育委員会定例会等開催予定について

4 出席者等

教育長 服部裕美子、教育長職務代理者 川口浩史、委員 三好勝晴、委員 土屋葉子、委員 重光純、教育次長 芹澤一男、教育指導監兼学校教育課長 大川淳、教育企画課長 金子昭人、学校管理課長 佐藤高志、生涯学習課長補佐 大沼政彦、調整担当教育企画課長補佐 矢田陽子、教育企画課指導主事 加納真、教育企画課主任 飯田彩美、教育企画課主任 長剣吾、教育企画課事務員 松井沙弥香

5 会議内容

(1) 開会

服部教育長が、午後3時15分開会を宣言する。

服部教育長より、本日の会議は公開とするが、報告事項2の案件については、11月沼津市議会定例会に報告する事項であるため、非公開とすることを委員に諮り、了承される。

また、公開案件から先に会議を進めることとする。

傍聴人 0人

(2) 会議録署名人の指名

服部教育長より、会議録署名人に三好委員、重光委員を指名する。

(3) 教育長報告

服部教育長

はじめに、私から11月の活動報告をさせていただく。

今月は、スポーツ・芸術の分野で、多くの催し、表彰式等が開催された。10月3日から約一カ月半にわたり開催された第45回沼津市芸術祭が11日に閉会し、閉会式に出席した。芸術・文化の振興を図る目的で、昭和49年から開催されてきた芸術祭であり、今年もプラサヴェルデや市民文化センターを会場に17部門で展示や発表があり、多くの方で賑わった。私も会場を訪れて展示や発表を拝見したが、家族や仲間で見賞したり舞台の発表をご覧になったりする方々を目にして、この芸術祭が市民の芸術文化の発表の場であり、また同時に交流の場であるということが大変意義あるものと感じた。今後も大切に育てていくべき事業と思っている。今月25日には、45周年記念事業として文化センターを会場に、展示、舞台、茶会等発表を凝縮するかたちで開催する計画となっている。特別ゲストとして、三遊亭朝橘さんによる落語も予定されているということで、多くの方に来場していただきたいと思う。芸術祭については、来月報告を行う予定である。

9日には、静浦小中一貫学校小中一貫教育研究発表会に出席した。平成26年に開校し、今年5年目を迎える一貫学校のこれまでの研究成果の発表ということで、市内小中学校から、また県内外からも参加者を迎え、充実した発表会となった。授業の公開や研究成果の発表、講師の講演、シンポジウムなど充実した内容で、今後小中一貫教育を推進するにあたり、大変多くの示唆に富むものであった。市内小中学校から多く参加者があり、これから「9年間で子どもをどう育てていくのか」という小中一貫教育の発表をもとにしながら、小中学校教職員の意識をひとつにして今の指導や活動を考えていく視点が重要であるということが発信されていた。この成果を基にしなが、市内で小中一貫教育を着実に進めていきたい。

今後の今月の予定であるが、11月15日に青少年問題協議会が開催され、その後、子供・若者育成支援強調月間街頭キャンペーンが予定されている。24日は、静岡県市町対抗駅伝競走大会に出場する沼津市チームの結団式を予定している。恒例となったこの駅伝競走大会であるが、今年は12月1日に開催される。選手の皆さんには、精一杯、気持ちよく走っていただきたい。

また、11月27日からは、11月市議会定例会が開会し、12月18日までの会期で開催される予定である。

教育長報告については、以上である。

<議案>

服部教育長 日程(4) 議案は、本日は案件なし。

<協議>

服部教育長 日程(5) 協議事項は、本日は案件なし。

<報告>

服部教育長 それでは、日程(6) 報告に入る。

1) 平成31年成人式及び新成人議会について

(生涯学習課長補佐 資料に基づき説明)

服部教育長 説明が終わったが、本件に対するご質問、ご意見等はいかがか。ないようなので、本件は報告を受けたということでご了承願う。

報告事項2)については、11月沼津市議会定例会報告案件であるため、当日非公開としたが、11月市議会での審議が終了したため、公開する。

2) 戸田地区小中一貫学校基本計画について

(教育企画課長 資料に基づき説明)

- 服部教育長 説明が終わったが、本件に対するご質問、ご意見等はいかがか。
- 三好委員 戸田小中一貫学校は、何年に開校となるのか。
- 教育企画課長 平成33(2021)年4月の開校を目指している。
- 三好委員 2021年となるか。そのときには、開校式を行う予定であるのか。
- 教育企画課長 詳細はまだ決めていないが、小学校と中学校を併せて一貫学校として開校となるので、開校式は行うこととなると思われる。
- 三好委員 静浦小中一貫学校のときのように新しい施設でということではないが、施設一体型でスタートすることになる。推計で小中学生合わせて80人程度か…。
- 服部教育長 今後児童数が減る見込みである。
- 三好委員 現在複式学級は発生していないが、この開校時に複式学級が発生しそうということか。
- 教育企画課長 2年生と3年生を合わせて12人、4年生と5年生を合わせて15人であるので開校時に複式学級となりそうである。
(※後日11月15日(木)に平成31年度から複式学級となる見込みであることが判明した。)
- 三好委員 小中学生両方とも教えられる先生をなるべく配置していくということになるのか。
- 教育企画課長 先生全員がそのようなわけにはいかないが、戸田という地域を考えて小中一貫教育がスムーズに進むように体制を整えていきたい。
- 三好委員 複式学級では、学校独自にカリキュラムを組んでいくと聞いたが、児童数が減って複式学級が発生したときには、どのように授業のカリキュラムを教育委員会として学校と協議したり支援したりするのか。複式学級のカリキュラムは学校側が考えることなのか。戸田だけではなく、あちこちで複式学級が発生する可能性があって、複式学級の授業のあり方について、どう指導していくのか。
- 学校教育課長 教育委員会が指導していかなければならないと考えている。先程「わり」という言い方をして、1クラスに1人の教員で2学年を交互に指導すると言ったが、小中一貫学校の場合は、中学校の教員が小学校に行って指導できるので、学年単位で指導ができると思われる。中学校の教員は、全学年単学級でも7人の教員は配置される。つまり学級の倍以上の教員の配置がある。中学校3学級で3人の教員が授業を行っている間、4人の教員は空くのでこの教員が小学校のほうへ指導に行くことも可能となる。出張などもあるので常に対応できるというわけではないが、ある程度複式学級を解消することができる。

三好委員 服部教育長 極力複式学級を解消するよう、学校教育課で学校と一緒に対応してほしい。県内でも全国でも、小規模校の研修があり、複式学級や小規模校の良さを生かした授業の研修がある。先進事例も取り入れながらやっていくことが重要であると思う。

土屋委員 教育企画課長 戸田の地域性があるって、まとまりが強い。小中ひとつになりやすいのでは。戸田地区小中一貫校推進委員会でも、もともと小中隣接していて、ずっと一緒にやっているんで、協力や話し合いなど建設的に進めていこうとする意見が多い。人口減少は仕方ないところがあるが、新しい小中一貫教育ができる学校として、進めていきたいという様子を感じ取っている。

三好委員 教育企画課長 施設の面では、ホールを新しく作るということか。

三好委員 教育企画課長 多目的に使用できるホールを作る。

三好委員 教育企画課長 中学生が入っていくが、教室数は。

三好委員 教育企画課長 児童生徒数から計算しても充足する。

三好委員 服部教育長 ほかにご意見等はいかがか。

三好委員 服部教育長 ないようなので、本件は報告を受けたということでご了承願う。

<その他>

三好委員 服部教育長 その他、何かあるか。

(事務局より、平成31年教育委員会定例会等開催予定について)

以上をもって本日の定例会を終了する。

午後3時40分 閉会